

TOPICS

トピックス ア・ラ・カルト

本願寺の東西分裂 新説本出版

本願寺の東西分裂（一六〇二年）は通説になっていた徳川家康の謀略ではなく、弟に門主を譲った教如が独立を求めて家康に近づき分派を果したとする新説を紹介した本をこのほど、真宗大谷派（本山・東本願寺、京都市）が出版した。教如が秀吉に「隠退」を命じられた後も門徒と宗教活動を続けたことから「本願寺を別立させる強い意志を持っていた」と指摘。

家康との仲介を家臣に依頼する教如直筆の書状や、関ヶ原の合戦（一六〇〇年）前後に教如が家康と何度も会ったことを示す史料を紹介し、「秀吉の次は家康の天下と読み、茶人千利休の人脈などを駆使し家康に接近した」と推論した。



7月9日

移動研修・法話会

親鸞聖人の足跡をたずねて（箱根）を役員一同にて計画しております。

昨年は、定員が五月（定例法話会）には満席になりました。今年も五月の定例法話会に参加人数をある程度確立したいと思えます。参加費用は、バス代、昼食代、写真代、一部入場料として一人五、六千円と例年通りになりたいと思います。

これから下見をして、詳細を決定した後、参加申込者に配布いたします。

移動研修・法話会に参加希望の方は定例法話会の折か、電話にて三寶寺までお申し込みください。

なお参加者の方は全員団体保険に加入していただきます。保険の申し込みの都合上、郵便番号、住所、氏名、性別、生年月日、電話番号を三寶寺に教示をお願いいたします。

親鸞聖人を深く知るきっかけになる三寶寺移動研修・法話会になるでしょう。昨年初参加されたご夫妻は「心が晴れました」と感想をのべて下さいました。この感想は拔苦与楽という阿彌陀如来の本願からです。お申し込みをお待ちしております。 合掌

釋法弘

北海道の修業から帰る

この度、北海道の即信寺 亀谷享ご住職（北海道余市郡余市町）のもとでご指導をいただきておりました長男 釋法弘が帰ってまいりました。ここに皆様にご報告いたします。今後、月忌参りや法事、法要にうかがうようになりそうですので、よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。また、過分なる御礼、ご門徒の方々からのたくさんのお饞別をいただき、即信寺様には重ねて御礼申し上げます。 合掌

花まつり（入参式）の意義

四月の時に、入参式をお申し込みされた方が「自分にあつたお念珠を腕にかけ、いつでも合掌の気持ちを忘れないようにしてほしい」と願っております、と語っておられた。

また、ご年輩の方が「三寶寺さんは、子供さんたちがお寺にいられている」と喜びの声をあげておられました。どうぞ花まつりをきっかけに、皆様のお子様を仏性育成のために、お連れ下さい。皆様で仏性を祝いましょう。 合掌



兄と久々に弘明と法弘の兄弟の記念撮影

東京真宗会館前に建つ旅装姿の親鸞聖人像。今年には親鸞聖人の足跡を箱根にたずねます。

一人一人のご懇志で 両堂のご修復

先のご案内で、次の方々から瓦懇志のお申し込みがありました。紙面を借りて御礼申し上げます。

生田修治様・水澤浩様・寺崎藤明様・加藤はる糸様

引き続き本山にかわりましてご懇志をお願い申し上げます。

ご懇志によって引き出物（記念品）が異なります。三寶寺までお申し込みください。

瓦への記名見本

